

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。

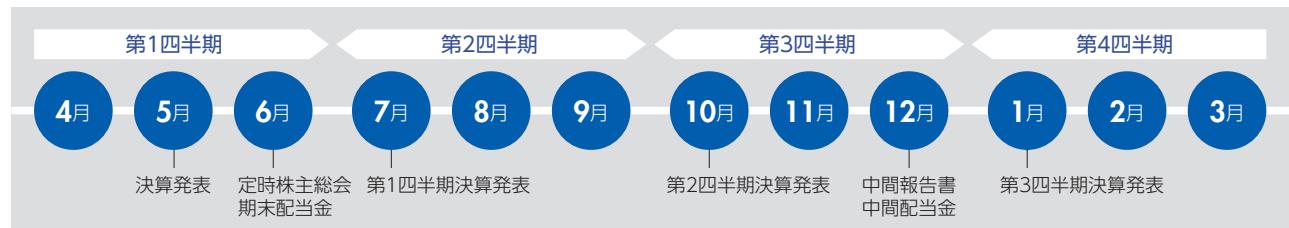
■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出下さい。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。

■ 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。

IRカレンダー



〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋518番地
TEL:0463-82-1311 FAX:0463-82-7413



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。



当社ホームページのご案内

<https://www.niv.co.jp/>

NITTAN

検索

当社の企業情報をはじめ製品情報や、株主・投資家向けのIR情報など、様々な会社情報を掲載しております。是非ご覧下さい。

トップページ



IRページ



「NITTAN Challenge 10」と 「新たな創造への挑戦」



NITTAN REPORT

第102期 上半期報告書

2023年4月1日—2023年9月30日
証券コード：6493

INDEX

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 01 トップインタビュー | 07 セグメントの概況 |
| 04 連結財務諸表 | 10 会社・株式情報 |
| 05 特集
カーボンニュートラル達成
に向けた取り組み | |

「何事に関してもシンプルに捉えて、スピーディーに対応する」をスローガンに掲げ、持続的な企業価値向上を目指します。

リテーファン
代表取締役社長 李太煥

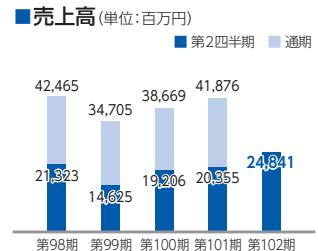
Q 当第2四半期の概況についてお聞かせ下さい。

A 当第2四半期連結累計期間における世界経済は、経済社会活動の正常化が一段と進むなかで景気は緩やかな回復の動きが続きました。しかしながら、国際情勢の不安定化等を背景とする資源価格の高止まりに加え、世界的な金融引き締めや中国経済の先行き不安等による影響が懸念されるなど不透明な状況での推移となりました。また、当社グループが最も影響を受ける自動車業界におきましては、半導体等の部品不足に伴う供給制約の緩和により、グローバルでの生産・販売は堅調な推移となっています。

このような経営環境のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、半導体等の部品不足等に起因した生産調整の解消に伴う受注回復や為替換算の円安効果等に加え、原材料・エネルギー価格上昇分の販売価格への反映等により前年同期に比べ大幅な増収となりました。この結果、売上高は、248億41百万円(前年同期比22.0%増)となりました。

損益面につきましては、各地域における受注回復に伴う増収効

連結財務ハイライト



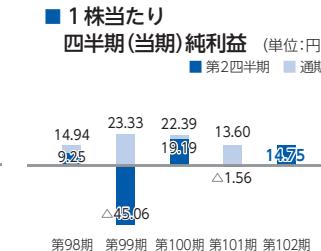
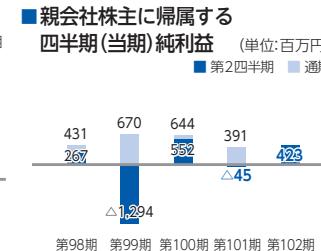
果や為替換算の円安効果に加え、販売価格の改定や生産効率の改善等により、前年同期に比べ大幅な増益となる、営業利益10億68百万円(前年同期比201.1%増)、経常利益13億4百万円(前年同期比133.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億23百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失45百万円)となりました。

Q 「パーパス(意義)」についてお聞かせ下さい。

A 企業が打ち出す「パーパス(意義)」については、最近の北米やヨーロッパの動きから、お客様の商品に対する関心および購入するか否かの判断材料としての性格があり、且つ、ESGと企業のビジネスを融合させて打ち出す世界的な傾向にあると私は捉えております。

当社の中長期経営ビジョンであるNITTAN Challenge 10(以下NC10)では、2030年の目標達成(売上高1,000億円以上/営業利益額100億円以上/売上高営業利益率10%以上)を掲げております。NC10達成のための『VISION I』(ICE有効活用領域)では、既存技術を活かし更なる燃費等の付加価値向上製品の開発を進めております。また、『VISION II』(xEV領域)では、主に先進国を中心に脱炭素を背景としたEV化に関わる新たな開発と商品化への挑戦をしております。

すなわち、NC10は、ESGにも関わる中長期経営ビジョ



NITTAN Challenge 10

2030年の目標に向けて、4本柱を育成していきます

1 ICE(内燃機関)領域

小型バルブを中心とした既存製品

- ICE(内燃機関)
- 熱効率最大化 e-Fuel(水素)
- ハイオクエタノール

▼エンジンバルブ

- 中空バルブ
- ハイパー中空バルブ
- 底面鏡面化バルブ
- 中実バルブ

▼動弁部品

- 4輪/2輪用油圧リフター
- RRA

2 脱炭素エンジン領域・駆動領域

既存事業の進化系高付加価値製品

- 脱炭素エンジン
- 水素燃料
- アンモニア燃料
- 駆動部品
- 各種ギア

▼動弁部品

- パーキングブレーキ用部品
- 船用油圧リフター

▼駆動部品

- 傘自動車

▼エンジンバルブ

- 水素燃料対応バルブ
- 船用中空バルブ

3 xEV領域

- xEV
- E-Axle
- 減速機
- デフASSY
- 電動過給機
- モーターロータ

▼駆動部品

- ヘリカルギア
- 増・減速機(ニクスドライブ)
- 増・減速機 並行軸歯車

▼パワートレイン

- FCV用電動過給部品

VISION II (xEV領域)

新事業 & 新商品は、SDGs 指向のニーズを脱んだ開発で実現する

4 SDGs 配慮商品

- ゴルフパター
- コースター
- 栽培キット

VISION-X

「新たな開発」(SDGs 配慮商品)

エンジンや電動化とは無縁な領域でのSDGs 配慮商品の開発を通して、新たな可能性に挑戦する

Q NC10達成のための『VISION-X』についてお聞かせ下さい

A NC10達成のための『VISION-X』(SDGs 配慮商品)では、エンジンや電動化とは無縁な領域でのSDGs配慮商品の開発を通して、新たな可能性に挑戦することを掲げており、“愉快的開発”というサブタイトルが付随した特殊な位置づけのビジョンとなります。会社に貢献することは前提にしておりますが、エンジニアが愉快で楽しい気持ちを持って業務と並行しながら自主的な開発に取り組めることに重点を置いてプロジェクトの選定をしております。

現時点で既に事業化が見込めるようなプロジェクトはございません。ただし、NITTANゴルフパタープロジェクトに関しては、既にプロのレビューも受けております。また、神奈川にゆかりのあるジュニア選手たちに当社のパターを使用していただき、予選を通過したりもしています。さらに、「世界で唯一、1本のパターなので買いたい」というお客様がおられ、実際に購入までいただいております。

今後突然どう化けるかわからない面もございますが、VISION-Xは、エンジニアが開発というものに遊び心を持って取り組むための、いわゆる呼び水として私は捉えています。

NC10 “VISION-X”の開発状況

NITTAN ゴルフパター プロジェクト

マレット型 ネオマレット型

■ 複合加工機を使用し打音に拘った 2 種類のパターモデルが完成しました。

NITTAN SDGs プロジェクト

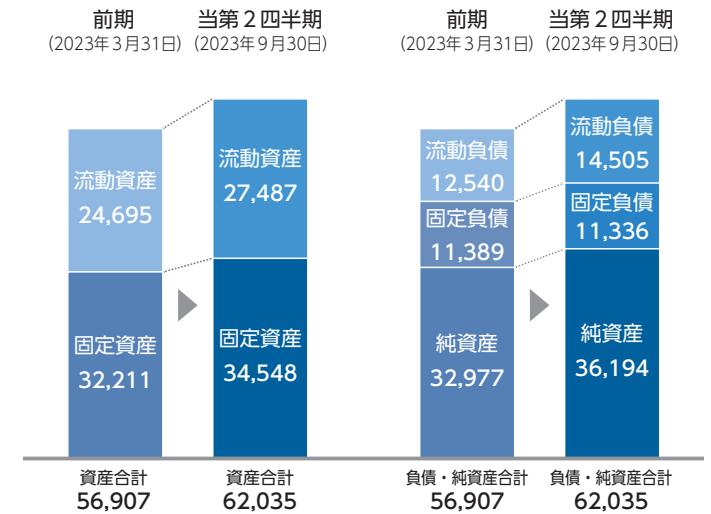
社内製栽培キット (試作モデル)

■ 目で楽しんで、食して満足できるリーズナブルな水耕栽培キットの開発を目指して試作中です。



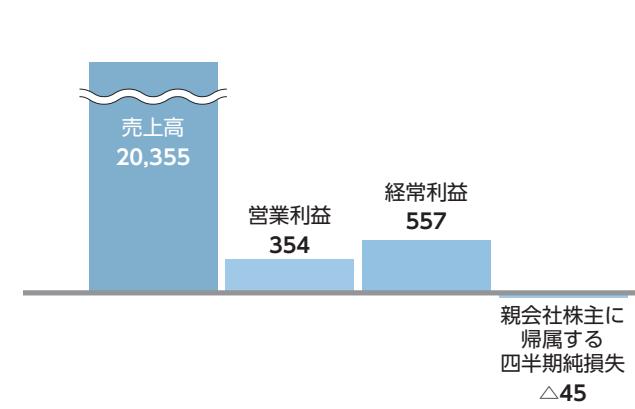
連結貸借対照表

(単位：百万円)



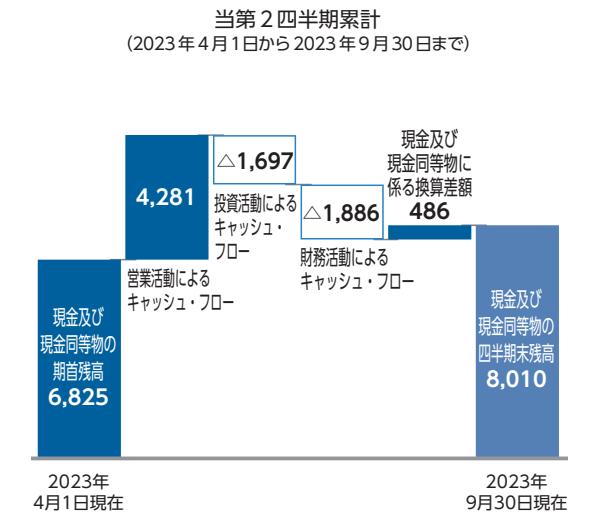
連結損益計算書

前第2四半期累計
(2022年4月1日から2022年9月30日まで)



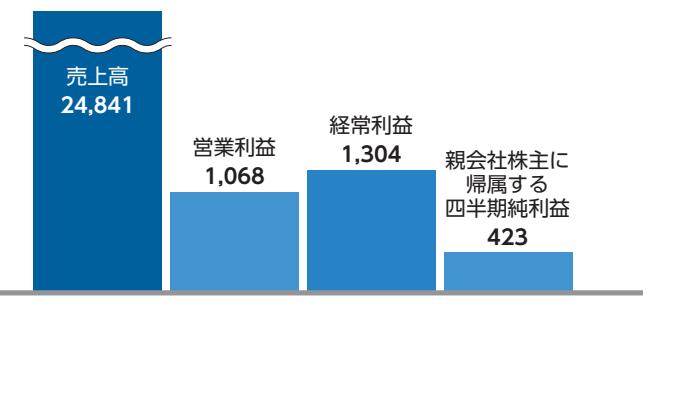
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)



連結損益計算書

当第2四半期累計
(2023年4月1日から2023年9月30日まで)



カーボンニュートラルに対する基本的な考え方

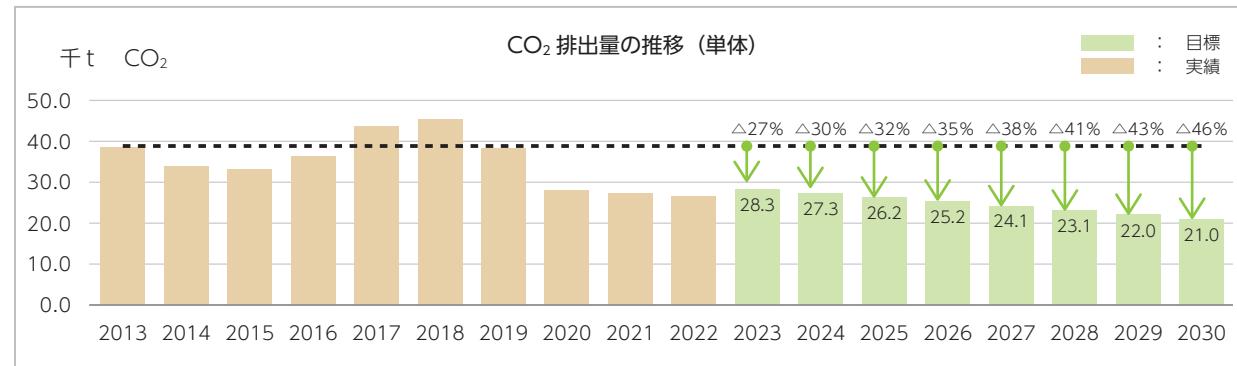
当社は、「環境との共生のもと企業の発展を通じて社会に貢献する」を企業理念として掲げており、これまで省資源化、廃棄物やエネルギーの削減に取り組んでまいりました。地球温暖化対策への社会的要請の高まりを受け、自社の事業活動で発生する温室効果ガス排出量の削減を宣言し、NITTANカーボンニュートラル(以下、「NCN」という。)を始動いたしました。また、NCNは、当社が新たな企業価値創造を実現するためにも必要な取り組みであると考えております。

NITTAN方針

『NCN(NITTANカーボンニュートラル)は、世界基準と推進に協調し、NITTAN Challenge 10と共に実現する。』

日本政府は、2021年4月に、2030年度において、温室効果ガス46%削減(2013年度比)を目指すこと、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けることを表明しました。当社では、日本政府の掲げる目標に準じ、2013年を基準として、2030年までに「CO₂排出量の46%削減」、「CO₂排出量取引等による4%削減」を目標に掲げています。カーボンニュートラル達成に向けてNCN活動を2022年4月より全社をあげて本格始動し、様々な課題に取り組んでおります。

CO₂排出量の状況 (スコープ1・スコープ2)



主な取り組み

スコープ1

事業者自らによる温室効果ガスの直接排出/
燃料の燃焼、工業プロセス

- ・重油利用を置き換えによって、廃止しました。
- ・社用車をHEV等の高燃費車両に入れ替えております。(HV、EVを含む)
- ・EV車両用充電スタンドを整備します。

スコープ2

他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

以下のとおり、太陽光発電の推進による、再生可能エネルギーの創出に取り組んでいます。

- ・本社工場および山陽工場の正門看板付近にソーラーパネルを新設しました。(2022年4月)
- ・タイ子会社の工場屋根に約512kw相当のソーラーパネルの設置が完了し、現在稼働中です。
- ・ベトナム子会社の工場屋根に378kw相当の発電パネルを行政機関の承認を得て着工予定です。
- ・中国(広州)子会社の工場屋根に330kw相当の発電パネルの設置を計画中です。
- ・韓国子会社に約187kw相当の発電パネルを設置済みです。(2024年1月稼働予定)

以下の活動を通じて、省電力によるCO₂削減に取り組んでいます。

- ・社内照明のLED化を推進しています。
- ・エアコンの更新を実施しています。
- ・設備更新を実施しています。

スコープ3

スコープ1およびスコープ2以外での間接排出/
事業者の活動に関連する他社の排出

- ・カテゴリ1 ニアネットによる鋼材使用量および補助材料の削減をしています。
- ・カテゴリ5 3Rによる廃棄物の削減をすすめています。



従来のバリ出し鍛造工法鍛造品 ニアネット鍛造工法鍛造品 新たなニアネット工法

鍛造品形状を完成形状に近づけることにより材料を減らし、取り代を削減します。



廃液のリサイクルを積極的に展開します。



NITTAN 本社工場正門 太陽光パネル



タイ子会社の太陽光発電



ベトナム子会社の太陽光発電予定

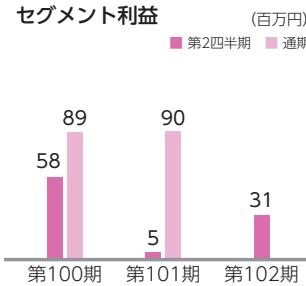
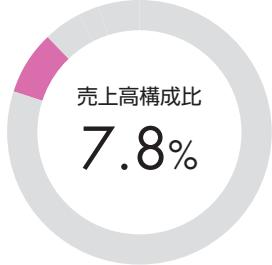
ポイント

- 小型エンジンバルブ事業は、各地域における受注回復や円安影響により増収増益となりました。
- 船用部品事業は、船舶用補用部品の受注増加により増収となりました。
- 歯車事業は、自動車用製品の本格的な受注回復に至らず減収も、販売価格の改定により損失が減少しました。
- PBW事業は、生産調整の影響による減収も、原価改善や価格の改定により増益となりました。
- その他事業は、工作機械のグループ内での取引増加により、黒字化しました。

小型エンジンバルブ事業



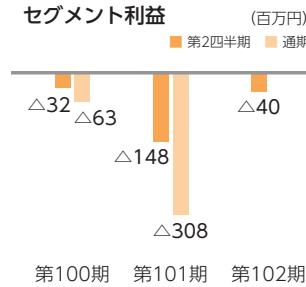
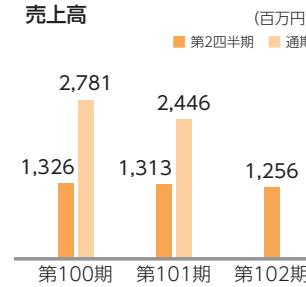
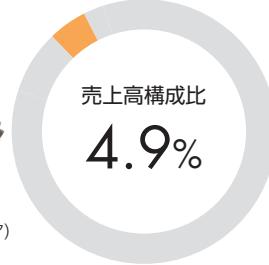
船用部品事業



歯車事業



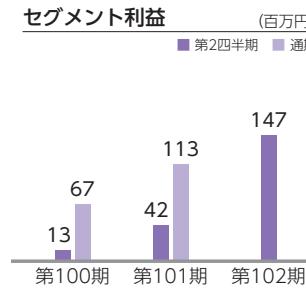
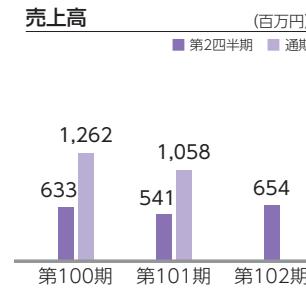
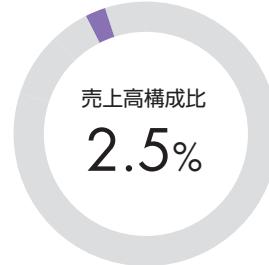
精密鍛造歯車
(ペベルギア、ピニオンギア、ドライブギア)



PBW事業



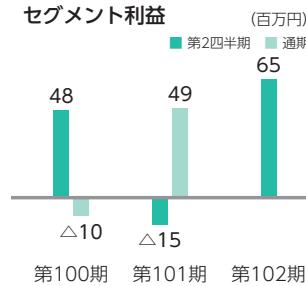
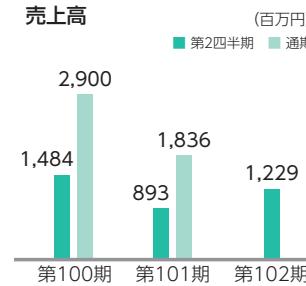
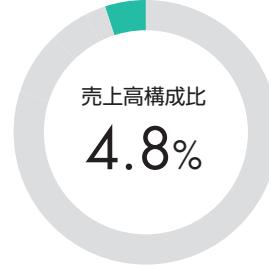
パーキングブレーキ用部品



その他事業



ローラー
ロッカーアーム
タペット
農作物

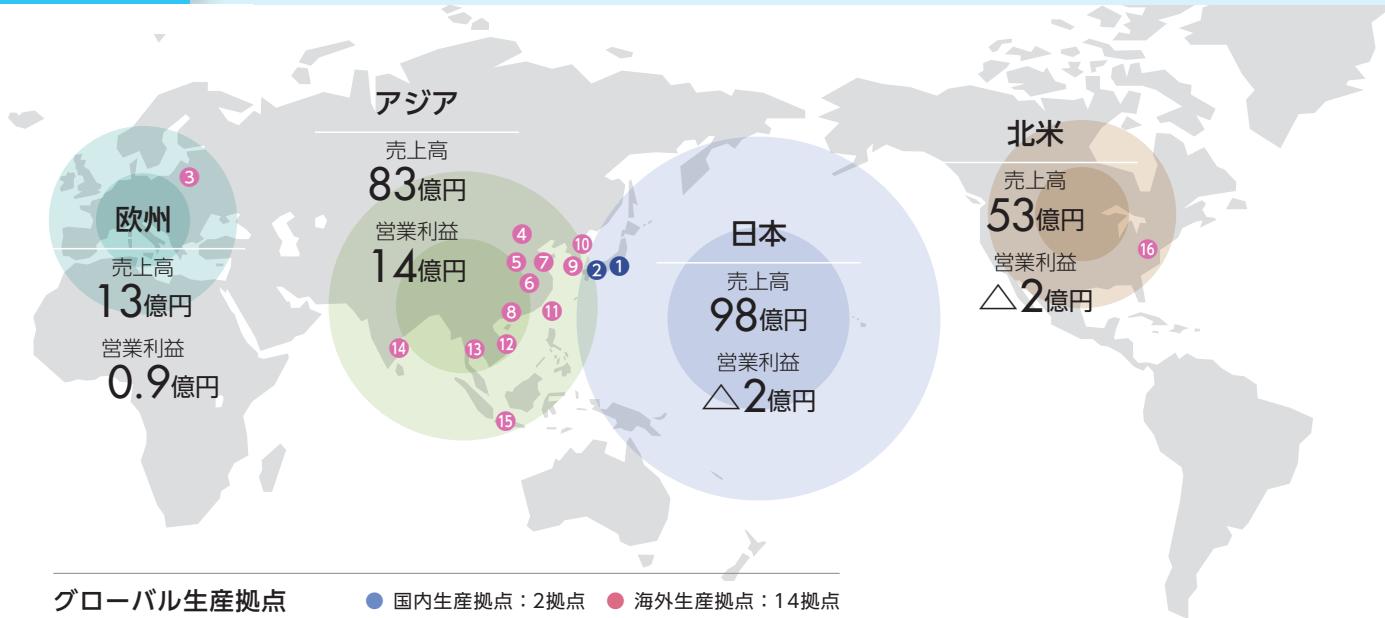
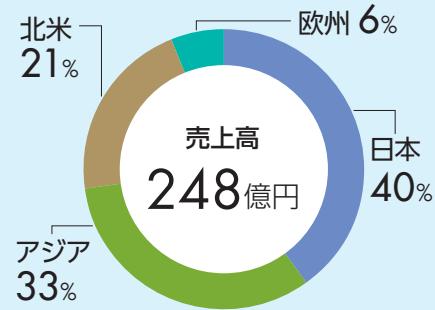


(注) 1. 各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。
2. 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
3. 「その他」の区分は、可変動弁、バルブリフター、工作機械製造販売、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。

地域別セグメントの概況

ポイント

- 日本では、半導体不足等による生産調整は解消傾向にあり、販売価格の改定により増収となりました。
- アジアでは、タイは受注減少となりましたが、他の地域にて堅調な売上を維持し、増収となりました。
- 北米では、受注回復や生産効率改善の取り組みにより損失が減少しました。
- 欧州では、新規製品立上げによる増収により、黒字化しました。



グローバル生産拠点

● 国内生産拠点：2拠点 ● 海外生産拠点：14拠点

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| ① 本社工場・堀山下工場(神奈川県) | ⑨ 新和精密株式会社(韓国) ☆ |
| ② 山陽工場(山口県) | ⑩ ケイエヌテック株式会社(韓国) ☆ |
| ③ ニッタン・ユーロ・テック spz o.o.(ポーランド) | ⑪ 台湾日鍛工業股份有限公司(台湾) |
| ④ 北京柳成新和汽車部件有限公司(中国) ☆ | ⑫ ニッタンベトナム Co., Ltd.(ベトナム) |
| ⑤ 日照柳成新和汽車部件有限公司(中国) ☆ | ⑬ ニッタンタイランド Co., Ltd.(タイ) |
| ⑥ 日照艾斯瑟汽車部件有限公司(中国) ☆ | ⑭ ニッタンインディアテック Pvt. Ltd.(インド) |
| ⑦ 日照日鍛汽車部件有限公司(中国) | ⑮ PT.フェデラルニッタンインダストリーズ(インドネシア) |
| ⑧ 広州日鍛汽車部件有限公司(中国) | ⑯ U.S.エンジンパルプ(パートナーシップ)(アメリカ) |

☆持分法適用会社となります。

(注) 1. 各セグメントの売上高は、外部顧客に対する売上高となります。
2. 記載金額は、億円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会社・株式情報

会社概要

商号	株式会社 NITTAN
本社所在地	本社工場：神奈川県秦野市曾屋518番地 東京本社：東京都新宿区西新宿8丁目4番2号 野村不動産西新宿ビル2F
設立	1948年(昭和23年)11月10日
資本金	4,530,543千円
従業員人数	連結 2,469名(2023年3月31日現在) 単体 689名(2023年9月30日現在)

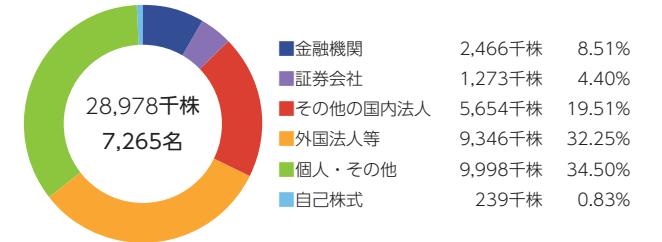
役員一覧 (2023年9月30日現在)

代表取締役会長	金原 利道
代表取締役社長	李 太煥
取締役執行役員	安藤 輝明
取締役	鈴木 隆司
取締役執行役員	栗原 伸元
取締役執行役員	高橋 幸一
取締役(社外)	石垣 和男
取締役(社外)	熊平 美香
取締役(社外)	徳永 健二郎
監査役(常勤)	菊地 浩二
監査役	井上 文雄
監査役(社外)	山田 章雄
監査役(社外)	工藤 光和
上席執行役員	桧村 雅人
執行役員	菊川 春房
執行役員	田中 靖彦
執行役員	村山 誠治
執行役員	遠藤 浩光

株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	89,000,000株
発行済株式総数	28,978,860株
株主数	7,265名

株式分布状況 (2023年9月30日現在)



大株主 上位10名(2023年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イートンコーポレーション	4,967	17.29
KSD-KB	1,376	4.79
株式会社横浜銀行	1,302	4.53
岩谷産業株式会社	1,300	4.52
本田技研工業株式会社	1,233	4.29
日本パーカライジング株式会社	1,098	3.82
PHILLIP SECURITIES CLIENTS (RETAIL)	1,058	3.68
INTERACTIVE BROKERS LLC	552	1.92
株式会社シンニッタン	517	1.80
NITTAN従業員持株会	462	1.61

(注) 持株比率は、自己株式(239,245株)を控除して計算しております。